

## ニュージーランド 今年最後のキウイ輸出チャーター便が日本へ出発

[FreshPlaza 2024年10月24日](#)

### ゼスプリは2024年のキウイフルーツシーズンを最後の日本向けチャーター船で締めくくる

約4,610トンのゼスプリ・グリーンキウイフルーツを積載したレディローズヒップ号は、11月初旬に東京に到着し、その後神戸に入港する予定である。

ゼスプリは、今シーズンのキウイフルーツをニュージーランドから輸送するため延べ62隻のチャーター船を利用しており、そのうち3隻が北ヨーロッパ、13隻が地中海、3隻が北米西海岸、そして43隻がアジアに向かった。これは、昨シーズンの51隻よりも多い。今シーズン最後の残り4,400トンの果実を運ぶコンテナ出荷も、今後数週間で完了する予定である。

ゼスプリのジェイソン・テ・ブレイキCEOは、今シーズン、1億9千万箱(68万4千トン)を超える記録的な収穫量を世界中の50以上の市場に届けるために、業界は多大な努力を払ったとして、「今シーズンの果実の品質は過去5年間に見た中で最高の部類であり、市場の取引先から素晴らしいフィードバックを得ている。弊社の販売先全体で強い需要があり、これに応じて販売する果実がまだ多くある中で、これは前向きなことだ」と述べた。(以下「」は同氏の話)

「ニュージーランド産の販売シーズンについては、ヨーロッパ向けサンゴールドは今週末、グリーンは11月末に終了する予定である。一方、アジアでは11月下旬から12月上旬にシーズンが終了する。」

「当社の営業チームと販売チームは、シーズンをしっかりと締めくくり、生産者に可能な限り最高の結果を提供するため、高い販売率を維持することに注力している。ヨーロッパは非常に好調で、特にフランスが際立っており、ドイツ、スペイン、オランダでの売上も良好である。米国では、サンゴールドの好調な業績に牽引され、ゼスプリは引き続きナンバーワンのキウイフルーツブランドとなっている。」

「アジアでは、大中華圏(中国本土、香港、マカオ、台湾)で数量が前年比40%増加して大躍進のシーズンとなり、引き続き青果物のトレンドに逆らって金額と数量の両方が前年比で増加した。厳しい市場環境の中、日本と韓国でも販売は順調に推移している。

テ・ブレイキ氏は、ニュージーランド産の今年のシーズン終了に向けて最後のチャーター船が航海中であるが、2025年の計画について、今年もゼスプリ、流通業者、生産者団体(NZKGI)の代表者を巻き込んで準備が進んでいると言う。「この段階ではまだ早いですが、来年はニュージーランド産の収穫量をもっと緩やかに増やすことを計画している。」

「ニュージーランド産のシーズン終盤に向けて、力強い終了を期待したい。その後は、2025年のニュージーランド産シーズンが再開されるまで、棚のスペースと売上げを維持し、主要な取引先と消費者に12カ月の周年供給を行うことを可能にする季節補完的なゼスプリ・グローバルサプライ(ZGS)プログラムに移行する。」

需要の増加と競争の激化に対応するため、ゼスプリはZGSの拡大についてニュージーランドの生産者と話し合いを行ってきており、北半球でゼスプリ・サンゴールドキウイフルーツの栽培面積を増やすための生産者投票を行うかどうか、近日中に決定することとしている。